

2021年08月08日

「アメリカ民主社会主義」全国政治委員会報告草案

2021年6月18日

「社会主義の明日のために: 過去2年間の総括」

「アメリカ民主社会主義」全国政治委員会草案

For a Socialist Tomorrow: A Report on 2019-2021

若い人たちの組織で、サンダースの大統領キャンペーン組織から衣替えしたもののようです。ツッコみどころはいろいろありますが、なにせ勢いが良い。こうでなくっちゃと思います。

全国政治委員会が2年前に発足したとき、大統領選挙が私たちの最大の政治的焦点だった。

去年春にCOVID-19が発生し、5月にはジョージ・フロイドの殺害をきっかけとした大規模な暴動が起き、政治情勢を大きく変えました。

活動スタイルは変化しました。人々へのアプローチは、社会的距離、バーチャル集会、個人の活動制限などに適応する必要がありました。

パンデミックは資本主義から仮面を剥ぎ取り、社会を構築する人々に真実を明らかにしました。

あらゆる場面で、資本家の利益が公共の安全と福祉に優先されました。営業再開、ワクチン接種、学校の再開に関する情報は覆い隠されました。

これらの失敗は、非常に多くのコミュニティを壊滅させた。それは横行する反アジアの暴力の一因となった。国家はますます暴力で対応するようになり、警察による殺人が相次ぎ、人々の怒りが広がった。

1月6日の「議事堂の反乱」が明らかにしたように、極右は消えておらず、国家はこれらの勢力に反対する意志はない。

去年のトランプ駆逐作戦は、共和党による投票権への攻撃の激化を促しました。

資本家が引き起こした気候危機は、冬の嵐を引き起こし、非常に多くの命を奪った。さらにこの夏には干ばつ、竜巻、ハリケーンが土地を荒廃させ、より多くの死者をもたらしている。

アメリカ合衆国移民・関税執行局(ICE)は、容赦なく残酷で不正な機関であり続けています。それは移民家族の分離と黒人女性と茶色の女性の強制的な不妊手術を強化しています。

すでにアメリカ帝国主義によって搾取されている多くの国々は、ワクチン特許の独占と禁輸・封鎖・制裁による医療資源の不足によって悪化し、壊滅的な人命の損失に苦しんでいます。

ナイジェリア、コロンビア、パレスチナで、警察と軍隊は「尊厳を持って生きる」権利を要求する大衆に暴力を振るいつづけています。

この2年で、私たちがどれほど強力であるかが示されました。しかしそれらすべてが、一層迅速に進めなければなりません。この仕事でお互いを支え合いながら、いま私たちは、この間に奪われた命と機会を残念に思い悼みます。

それでも、社会主義を展望するだけでなく、社会主義組織を構築するという日々の仕事それぞれ自体希望であります。

昨年たたかいは、たんに選挙に勝利しただけでなく、集合的な力を獲得したことで評価されるでしょう。

それは私たちが闘った時、どのくらいの階級的な力を持つことができるかを示しました。

今後、より直接的な行動に向かっとき、皆と一緒に働くとき、私たちは最も強力であることを学ぶべきです。

私たちは国際連帯に向けて努力しなければなりません。私たちの任務の一部は、このアメリカで帝国主義に立ち向かうことでなければなりません。

この闘いは人種的正義のため戦いであり、檻と警官のいない世界(a world without cages and cops)のための戦いであり、豊かさと尊厳、民主の社会主義世界(socialist world of abundance, of dignity, and of democracy)の実現を目指すものです。

私たちは全国各地で支部を設立し、その活動を前進させ、国と支部の間で活動を一体化させるための措置を講じました。

地方リーダーと話をし、国の組織としてどのように行動できるか、南部の同志、地方の同志、組織を始めたばかりの同志が直面している特定の問題について学びました。

私たちは、「組織化権の保護法」を成立させるためのキャンペーンや、郵便事業救済キャンペーンなど、これらの教訓を全国的なキャンペーンに組み込むよう努めてきました。

私たちは新しい支部への訓練を開始しました。全国教育委員会の訓練プログラムを作り、基本的カリキュラムに沿って指導しています。

それぞれの支部が地元の大衆組織や組合と強力な同盟関係を築き、労働者階級に私たちの運動を根付かせるために働いています。

国際的なつながりを深めるため、ペルーとベネズエラにそれぞれ2人の代表団を派遣しました。

急速に成長している社会主義組織であるがゆえに、私たちは間違いを犯しました。

私たちは、DSAをより成熟させるためにやるべきことがたくさんあり、多くのことを学ぶ必要があることを知っています。

最も重要なことは、支部が行動キャンペーンに焦点を当て、どのように主体的力量を成長させるか、真剣な議論を積み重ねることです。私達はそれを支援することを約束します。

「バーニーを勝たせるキャンペーン」は、人々の出会いの大切さと、ビジョンの共有に向けての取り組みの重要性を教えてくださいました。

100K Recruitment Drive(他人種・労働者・社会主義組織を今年中に10万人まで増やす計画)は団結して働くことでどれだけ成長できるかを示しています。

BIPOC(黒人、先住民族、有色人種)の優先決議は、組織が多民族であることを保証するためにも、文化と構造の転換の必要性を明確にするためにも役立ちます。

私たちの PRO Act キャンペーンは、それらの優先度を通知しています。

過去 2 年間はあっというまでした。私たちはいま、これから構築する中身を楽しみにして集中しています。

労働者階級はみずからのものを取り戻さなければならない。そのための手段となる組織を築き上げなければならない。

私たちはもはや、6 年前の結成時とは異なる組織であり、6 年後にどのような組織に成長するか、夢を膨らませている。

永遠の連帯を！